

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月16日
中国運輸局

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策協議会	広島電鉄株式会社 湯来	五日市駅南口～杉並台団地～湯来 ロッジ前	系統の適切な計画について引き続き関係 自治体と検討する。	C	A	今後、地域公共交通計画及び利便増進実施計 画に基づき、市町と共同して再編を検討す る。	各系統は、概ね計画どおり運行されており、 評価できるが、年末年始等で事業の内容を変 更するときは、事前に変更認定を受けるよう ご留意願いたい。 今後も、SNSを通じた観光情報の提供や沿線学 生への支援や助成について関係自治体と連携 し実施しており、当該取組を通じて更なる利 用促進に繋げ、路線の維持に努めていただ くとともに、地域公共交通計画及び地域公共 交通利便増進実施計画に基づき、再編を検討 するにあたっては、関係自治体等と連携し、利 便性の向上、利用促進に繋がることを期待す る。	
	広島電鉄株式会社 三段峡	広島バスセンター～可部・加計～ 三段峡		A	A			
	広島電鉄株式会社 三段峡	広島バスセンター～広島IC・戸 河内IC～三段峡		A	A			
	広島電鉄株式会社 琴谷	広島バスセンター～安佐営業所～ 琴谷車庫		A	A			
	広島電鉄株式会社 津田	廿日市市役所前駅～津田		C	A			
	広島電鉄株式会社 四季が丘	広島バスセンター～市役所・田方 ノストップ～四季が丘		—	C			
	芸陽バス株式会社 瀬野・広島	宮の前～海田～広島バスセンター	期間中には実施できなかったが、2024年2 月1日に抜本的なダイヤ改正をおこなう。 エリア全体では減便になるものの、便間 隔の調整や実態に沿った時刻設定とし、 利便性の向上を目指す。 なお、広島市中心部における電車・バス の共同経営を2022年11月1日に実施し、エ リア運賃の見直しや運賃改定、共通パス の拡充をおこなった。	A	A	(西条・瀬野～広島線) 2024年2月1日のダイヤ改正後の利用動向を検 証し、実態にそぐわない点があれば改善に努 める。 また安定した運行のため、引き続き運転士の 確保に努める。	各系統は、計画どおり適切に運行されてお り、評価できる。	
	芸陽バス株式会社 東雲	宮の前～市役所前～広島バスセンター	A	A				
	芸陽バス株式会社 西条・広島	西条駅前～瀬野駅～広島バスセン ター	A	A				
	芸陽バス株式会社 西条・広島	八本松～海田～広島バスセンター	期間中には実施できなかったが、2024年2 月1日に抜本的なダイヤ改正をおこなう。 その際に当系統は廃止する。	A	A	※当系統は2024年2月1日を以て廃止	今後、他の交通機関や関係自治体、広島国際 空港等の連携、PRや利用実態に沿ったダイ ヤ等の見直しを行うことにより、利便性の向 上や、新たな需要の取り込みにつながることを 期待する。	
	芸陽バス株式会社 西条・竹原	西条駅前～新庄～竹原駅	2023年3月に山陽新幹線のダイヤが大きく 変わったため、東広島駅での接続を見直 した。新幹線との接続は良くなったが観 光客の利用はそれほど増えていない。	A	A	都市間輸送、拠点内輸送、新幹線接続などの 多面性があり、利用促進のため引き続き路線 のPRに努める。		
	芸陽バス株式会社 竹原・三原	三原営業所～すなみ荘前～中通	列車、船舶の運行時刻に大きな変更はな かったため、当系統についても大きな変 更は実施していない。沿線への観光客は 増えているようだが、当系統の利用は伸 びていない。	A	A	企画乗車券などを整備し、沿線の観光地への アクセスルートとしてのPRをおこなう。		

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策 協議会	芸陽バス株式会社 沼田東	三原営業所～沼田東団地上 本郷駅・松江～三原営業所	経路変更等の協議については進んでいない。平成30年7月豪雨等により沿線の衰退が顕著であり、引き続き路線の見直し等が必要であるとする。 運転士不足のため、2023年8月より土曜ダイヤを減便し日祝と同一とした。	A	A	ルート変更は三原市の協力が必須となるため、引き続き検討したい。	各系統は、概ね計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後、他の交通機関や関係自治体、広島国際空港等の連携、PRや利用実態に沿ったダイヤ等の見直しを行うことにより、利便性の向上や、新たな需要の取り込みにつながることを期待する。	
	芸陽バス株式会社 白市・空港	白市駅北～白市駅・河内インター～広島空港	（白市駅～広島空港線） G7広島サミット期間中、ほぼ全ての空港アクセスの路線が運休中、増発対応（直行便）し利用者の利便を確保した。PRにもなったと思われる。 広島空港発着の国内線は全便運航再開し、国際線も順次運航再開している。利用者も徐々に戻りつつある一方、同じ東広島市内の西条駅を発着するリムジンバスが運行再開したため、当路線の利用は伸び悩んでいる。	A	A	（白市～広島空港線） 引き続き広島国際空港や広島県空港振興課と連携し、PRを行い利用者確保に努めたい。		
	芸陽バス株式会社 白市・空港	白市駅北～白市駅・元兼～広島空港		A	A			
	芸陽バス株式会社 白市・空港	白市駅～河内インター～広島空港		A	A			
	芸陽バス株式会社 豊栄・西条	豊栄～上戸野～西条駅前	東広島市北部では人口の減少と少子高齢化が進み、沿線にある高校は生徒数が減少している。南部でも沿線の団地住民が高齢化しており、バス利用者は減少している。	A	A	（豊栄西条線） 沿線は過疎化が進んでおり状況は厳しいが、存続のため地元と連携し利用状況改善に向けて取り組む。 また安定した運行のため、引き続き運転士の確保に努める。		
	芸陽バス株式会社 豊栄・西条	豊栄～高美が丘・西高屋駅～西条駅前	当系統は沿線の大規模住宅団地と最寄り鉄道駅を結ぶ性格もあり、今年春に新型コロナが5類へ移行したことで、広島市内への移動を目的とした利用が回復したものである。	A	A			
	芸陽バス株式会社 安芸南	海田市駅～矢野大浜 ヅグラン安芸・矢野大浜～海田市駅	期間中には実施できなかったが、2024年2月1日にダイヤ改正を実施し、土日祝日の便数を半減（▲4便）する。平日については引き続き利用状況を見ながら検討する。	B	A	2024年2月1日のダイヤ改正後の利用動向を検証し、実態にそぐわない点があれば改善に努める。 また安定した運行のため、引き続き運転士の確保に努める。		
	芸陽バス株式会社 竹原広島	竹原フェリー～竹原駅・河内IC～広島バスセンター	竹原市は人口減少が続いており、観光による利用を伸ばしていく必要があるなかで、今年春に新型コロナが5類へ移行し、ここ数年でもっとも旅行者が多かった。 なお、広島市中心部における共同経営の実施に合わせ2022年11月1日に運賃を改定し、分かりやすい運賃体系とした。	A	A	（竹原広島線） 新型コロナが5類へ移行したものの、利用者数は伸び悩んでいる。企画乗車券の活用によりPRをおこない、観光利用を取り込んでいきたい。なお、新型コロナによる間引きダイヤを見直し、利便性の確保に努めたい。		
	芸陽バス株式会社 竹原広島	忠海駅前～竹原駅・河内IC～広島バスセンター		B	A			

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における二次評価結果	備考		
			③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果	
広島県生活交通対策協議会	株式会社中国バス 福山・市系統	福山駅前～中国中央病院～市出張所	沿線自治体と連携し、2023年4月に実態に沿った運行時刻の見直しを実施した。また、経費削減に取り組み、経常損失額は230万円ほど改善した	A	A	引き続き沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しと運行経費の削減を図り収支改善に努める	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も、沿線自治体と連携し、継続して利用実態に沿ったダイヤ改正により、利便性の向上を図るとともに、運行経費の削減等による収支改善により路線維持に繋がることを期待する。		
	株式会社中国バス 福山・府中系統	目崎車庫～福山駅前	沿線自治体と連携し、2023年4月に実態に沿った運行時刻の見直しを実施した。また、経費削減に取り組み、経常損失額は750万円ほど改善した	A	A				
	株式会社中国バス 尾道・甲山系統	尾道駅前～川上口・新尾道駅～甲山営業所	経費削減に取り組み、2023年4月に実態に沿った運行時刻の見直しを実施したものの、経常損失は300万円ほど増加した	A	A				
	株式会社中国バス 尾道・甲山系統	尾道駅前～長江口・バイパス～甲山 営業所	沿線自治体と連携し、2023年4月に実態に沿った運行時刻の見直しを実施した。また、経費削減に取り組んだものの、経常損失額は200万円ほど増加した	A	A				
	株式会社中国バス 尾道・市系統	尾道駅前～川上口・新尾道駅～市(御調高校前)	経費削減に取り組み、経常損失は400万円ほど改善した	A	A				
	株式会社中国バス 甲山・三原系統	甲山営業所～林崎谷～三原駅前	経費削減に取り組んだものの、経常損失は400万円ほど増加した	A	A				
	株式会社中国バス 三原・広島空港系統	三原駅前～三原棧橋～広島空港	沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しと広島空港運航時刻にあわせたダイヤ改正を実施した。経費削減に取り組み、経常損失額は400万円ほど改善した	A	A				
	株式会社中国バス 油木・福山系統	油木～道上～福山駅前	経費削減に取り組んだものの、経常損失は100万円ほど増加した	A	A				
	鞆鉄道株式会社 洗谷常石	福山駅前～洗谷～常石	路線再編は今年度策定される福山・笠岡地域公共交通計画に基づき実施することとなった。 今期は利用状況を分析し、10月と4月にダイヤ改正を実施した。	A	B			今後、地域公共交通計画及び利便増進実施計画に基づき、福山市と共同して再編を検討する。	各系統は、概ね計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も、利用者アンケートを行い、リアルな利用ニーズの把握に努め、関係自治体と連携し、ニーズとデータに応じたダイヤ改正を行うとともに、関係自治体と連携した路線再編により利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。
	鞆鉄道株式会社 瀬戸千年	福山駅前～瀬戸～千年橋		A	B				
鞆鉄道株式会社 小立千年	福山駅前～小立～千年橋	A		B					
鞆鉄道株式会社 瀬戸常石	福山駅前～瀬戸～常石	A		B					
鞆鉄道株式会社 阿伏兔	福山駅前～瀬戸～阿伏兔	A		B					
鞆鉄道株式会社 福山内海	福山駅前～瀬戸～内海農協	A		B					

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策協議会	備北交通株式会社 三城線	庄原駅～ジョイフル・上四十貫～ 三次駅前	三次駅前バス乗り場にデジタルサイネー ジを設置した。	A	A	・経路上の格致高校入口について、運行経路 を変更し、高校正面で乗降ができるよう検討 を行う。	系統は、計画どおり適切に運行されており、 評価できる。 今後も、デジタルサイネージを活用した利用 者への分かりやすい情報提供やわかりやすい 乗降場、観光客をターゲットにした観光案内 により、利便性の向上、利用促進に繋がるこ とを期待する。	
	本四バス開発株式会社 瀬戸田～因島線	瀬戸田港～内海造船・生口橋～土 生港前	瀬戸田町へ観光誘致を行うため、グリー ンスローモビリティの有償運行を行い、 路線バスへの利用促進を図った。	A	A	地域住民への広報活動による利用促進を図 る。	系統は、計画どおり適切に運行されており、 評価できる。 また、交通系ICカードの導入により、利便 性の向上を図られた。 今後も、交通系ICカードのPR、小学生へ の乗り方教室など地域住民の利用促進に加え て、観光での利用喚起を図ることにより、利 用促進に繋がることを期待する。	
	江田島バス株式会社 4主系統	小用～江田島市役所前～大柿高校 前	・パスピーの利用データ等を参考にしつ つ、江田島市とも十分に協議・検討を 行った上で、航路との接続の改善及び通 勤・通学、通院、買い物など、市内の生 活利用や観光利用の利便性向上等を目的 として、令和4年12月1日から、路線 バス網の再編及びこれに伴うダイヤ改正 を実施した。	B	A	・令和7年3月にPASPYのサービスが終 了するため、現状の利用実態等を十分に考 慮した上で、江田島市とも十分に協議しな がら、新たなシステムの導入について検討を行 う。 ・引き続き、バス接近情報を反映した経路検 索と全路線乗降可能な乗車券の相乗効果によ り、増客増収を図る。	各系統は、概ね計画どおり適切に運行されて おり、評価できる。 今後も、ICカード利用データを活用したダ イヤの見直しやバス接近情報を反映した経路 検索、特殊乗車券類の企画・販売により、観 光利用も含めた利便性の向上、利用促進に繋 がることを期待する。	
	江田島バス株式会社 14主系統	小用～大君～深江	・バスロケーションシステムのデータに より整備した「GTFSリアルタイム」情報 を公開し、Google マップ等のバス接近情 報を反映した経路検索を可能にするとと もに、全路線を24時間自由に乗降可能 な乗車券（デジタルチケット）を発売 し、増客増収を図っている。	A	A			
	さんようバス株式会社 1系統	太田～明石港・大串～太田	現在島民のバス利用は、買物、病院通 院、島外の移動するため、最寄りの港ま での利用で定着してきている。これまで も地域の高齢者サロンでのバス利用（買 物・病院通院等）の啓発活動を行っている。 その他中学生の通学バス（一部小 学生の通学バスとして路線バスを利用） として路線バスを活用して、島内の3 校の小学校には、路線バスの乗り方教室 で実車を持って行き啓発活動を行って いる。 コミュニティーバスとの相互利用を 継続して啓発していく必要がある。	B	B	令和4年11月～12月の1ヶ月間（100円）でデマ ンド型コミュニティーバスの試験運行を行い、 令和5年12月～令和6年3月迄デマンド型コミ ニティーバスの実証実験を行い令和6年4月か らはデマンド型コミュニティーバスの本運行が 予定されていて、今後は従来のコミュニティー バス（おと姫バス2台）にプラスして、デマ ンド型コミュニティーバス2台が運行すること から、大崎上島循環線との共存について、相 互利用を促進する方向で利用アップを模索し ていく必要がある。	系統は、概ね計画どおり適切に運行されてお り、評価できる。 今後も、関係者と連携することで利便性の向 上を図るとともに、バスの乗り方教室などの 啓発活動等により利用促進に繋がることを期 待する。	
	おのみちバス株式会社 如水館線	尾道駅前～長江口～ 如水館前	コロナ禍以降でも減便しないで運行した ことで、通学バスとしての役割は一定程 度果たした。	A	B	今後も利用実態に沿ったダイヤとなるようI Cカード利用データなどを活用し、利用者の ニーズを把握する。	系統は、計画どおり適切に運行されており評 価できる。 今後も、利用者のニーズを的確に把握し、利 便性の向上を図るとともに、企画券の設定・ 見直しにより利用促進に繋がることを期待す る。	

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策協議会	瀬戸内産交株式会社 1系統	営農センター～中国労災病院	観光関係各所と連携し観光施設の利用のバス利用が増えてきております。	A	A	路線バスの観光利用促進につながる様に関係各所と連携し利便性を向上させる。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も、関係市町・観光施設と連携し、観光施設へのバス時刻表等の掲示により、観光利用も含めた利便性向上、利用促進に取り組むことを期待する。	
	瀬戸内産交株式会社 2系統	沖友天満宮～中国労災病院		A	A			
	中国 ジェイアールバス株式会社 C1	西条駅～広～呉駅	コロナの影響を考慮しつつ、関係自治体と結節点整備を見据えた路線再編等の協議を行い、生活交通を維持していく。	A	A	新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、イベント等が復活してきているため、開催される観光イベントや地域行事等については、引き続き、関係自治体と協力してアクセス情報をHP等で広報し、公共交通への転嫁を促すことで、恒常的なバス利用に繋げる。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も、関係自治体等と連携し、関係自治体HP等における観光イベントへのアクセス情報の広報により、利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	中国 ジェイアールバス株式会社 C2	西条駅～交叉点～呉駅		A	A			
	中国 ジェイアールバス株式会社 C109	賀茂医療センター口～庚・交叉点～呉駅		A	A			
	中国 ジェイアールバス株式会社 C160	西条駅～広島国際大学	—	A	A	コロナの影響を考慮しつつ、関係自治体と結節点整備を見据えた路線再編等の協議を行い、生活交通を維持していく。		
	中国 ジェイアールバス株式会社 C161	西条駅～郷田～広島国際大学	A	A				
	中国 ジェイアールバス株式会社 C164	西条駅～庚～広島国際大学	A	A				
	株式会社井笠バスカンパニー 井原・福山系統	井原～御領～福山	昨年度に引き続き車内にアンケートはがきを設置し利用者からの要望の調査を行い、結果を分析してダイヤ改善に生かしていく	A	A	利用者からの要望及び井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組み、利用実態に沿ったダイヤの改善を行う。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も、バスロケ実績データに基づく遅延対策、及び利用実態、利用者の要望等に沿ったダイヤの見直し、協議会との連携による取り組みにより、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	株式会社井笠バスカンパニー 篠坂・福山系統	篠坂～青葉台～福山		A	A			
	株式会社井笠バスカンパニー 中国中央病院系統	福山～市民病院～中国中央病院		A	A			
	株式会社ささき観光 おおのハートバス（横断）	サンランド車庫～前空駅～広電阿品駅	引き続きコロナ対策をいっつつ、計画どおり運行を行った。 また、令和6年度の路線再編に向けて、関係者と協働で検討していくところである。	A	A	令和6年度の路線再編を関係者と協働し、適切な実施に向けて検討を進める。 また、地域行事へのイベント参加を初めて実施し、利用促進に繋がる取組を開始した、引き続き継続的な利用促進施策を図る。	系統は、計画どおり適切に運行されており評価できる。 今後も、自治体と連携して、広報・ダイヤの見直し等により利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	石見交通株式会社 広益線	石見交通本社前～(清流ライン高津川号)～広島新幹線口	・外国人観光客ワンコイン(500円)パスを導入(9/29) ・ICカードIC0CAを導入し利便性の向上を図った	A	A	・体験乗車会等による利用促進 ・観光需要等利用促進に向けPRに努める	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 また、交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図られた。 今後も、交通系ICカードのPR、体験乗車会や旅行者へのPR等により、利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	廿日市交通株式会社 廿日市さくら（佐方）	廿日市市役所前駅～廿日市市役所前駅	引き続きコロナ対策をいっつつ、計画どおり運行を行った。 令和5年12月の路線再編に向けて、関係者と協働での検討を進めている。	A	A	令和5年12月の路線再編を関係者と協働し、適切に実施を図る。 また、再編した結果を継続的に検証し、引き続きより効率的な運行サービスの検討に努める。	系統は、計画どおり適切に運行されており評価できる。 今後も、自治体と連携して、広報・ダイヤの見直し等により、利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。	

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策 協議会	広島電鉄株式会社 湯来	既存 ノンステップバス1両 新規 ノンステップバス1両	新規でノンステップバス1両を導入した。	A	A	・国の設定する導入目標に向けノンステップバスの代替を進める。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和7年度末までにノンステップバス割合が80%とされているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。	
	広島電鉄株式会社 三段峡	既存 都市間連絡用バス1両	—	A	A			
	広島電鉄株式会社 津田	新規 ノンステップバス1両	新規でノンステップバス1両を導入した。	A	A			
	芸陽バス株式会社 瀬野・広島，東雲	既存 ノンステップ4両	光触媒や運転席への仕切り等、感染症拡大防止へ向けた対策を継続している。新型コロナウイルスは5類感染症へ移行したが、引き続き様々な感染症に対するリスク管理をおこなう	A	C	運転士不足等により補助対象路線も含めた減便を予定・検討しており、走行率の達成のため車両運用が厳しくなることが見込まれる。さらなる減便が必要な事態になれば、今後の車両購入計画にも影響が出る可能性がある。		
	芸陽バス株式会社 西条・広島，白市・空港	新規 ノンステップ1両 既存 ノンステップ6両		A	C			
	芸陽バス株式会社 西条・竹原，竹原・三原，三原・本郷	既存 ノンステップ3両		A	C			
	芸陽バス株式会社 西条・豊栄	新規 ノンステップ1両 既存 ノンステップ2両		A	C			
	株式会社中国バス 福山～目崎車庫	既存ノンステップ2両	当該系統の車両更新予定分を他系統分に振り替え、車両更新を見送った。	A	A	利用実態に応じた運行回数の設定に伴う車両の減車に合わせて全体的な更新を図る。		
	株式会社中国バス 三原～広島空港	既存ノンステップ2両		A	A			
	輛鉄道株式会社 新川線	新規 ノンステップ1両 既存 ノンステップ3両 ワンステップ1両	老朽化した車両2両の廃車とあわせて平均車齢の引き下げを図った。	A	A	引き続き、補助制度を活用した低床車両の導入を促進したい。		
	備北交通株式会社 三城線	既存：ノンステップ2両 新規：0両	ノンステップバス導入目標は達成済み	A	A	ノンステップバス導入目標は達成済み		
	江田島バス株式会社 4主系統（小用～大柿高校前）	新規 ノンステップ1両	令和5年6月にノンステップバス1両を導入し、老朽化したツースtepバス1両を減車したことにより、ノンステップバスの運行率が高まり、利用者の利便性が向上するとともに、利用促進に寄与している。	A	A	引き続き、江田島市と連携しながら計画的にノンステップバスを導入し、利用促進を図る。		
	江田島バス株式会社 14主系統（小用～深江）			A	A			
	さんようバス株式会社 1系統	ノンステップバス2両 ワンステップ1両	コロナ感染症などの流行等があり、大崎循環線の利用も減少するなどして、予備車両のノンステップバスへの代替えするに至っていない。現状改善にいたっていない。	B	B	利用の多くは高齢者が占めることから、コミュニティバスとの相互利用を促進することでの利用増を図るためにも、安全に乗降できるノンステップバスの代替えを模索しておきたい。		
	中国ジェイアールバス株式会社 西条～広～呉 西条～交叉点～呉 賀茂医療センター～庚・交叉点～呉 西条～郷田～広島国際大学 西条～庚～広島国際大学	新規 ノンステップ3両 既存 ノンステップ10両	補助制度を活用し低床車両の導入推進を図った。	A	A	車齢も考慮しつつ、計画的に補助制度を活用した低床車両の導入を推進する。		
株式会社井笠バスカンパニー 福山～市民病院～中国中央病院	新規 ノンステップ1両 既存 ノンステップ1両	当該系統の車両更新を行った。	A	A	今後も計画的に車両の更新を行っていく			
石見交通株式会社 広益線	既存 都市間連絡 4両	既存車両については、適切に運用している	A	A	車両の状態を注視し、計画的な更新を行い、安全安心な運行に努める。			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月16日

中国運輸局

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鳥取県生活交通確保に係る地域協議会	日ノ丸自動車株式会社 中河原系統	鳥取駅～山崎橋	事業者、県及び市町村が行っている利用促進等の取り組みを継続した。	A	A	○アフターコロナ時代の利用者需要を踏まえ、外国人旅行者を含めた観光利用の促進を図る。 ○事業者、県及び市町村が行っている利用促進の取組を継続するとともに、地域の実情・ニーズに応じた地域公共交通のあり方を検討していく。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 今後も、関係自治体との連携し、バスの乗り方教室やギャラリーバスの運行、SNS等による情報発信、バスロケーションシステムの活用により、外国人旅行者も含めた利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	日ノ丸自動車株式会社 中河原系統	鳥取駅～市内～山崎橋		A	C			
	日ノ丸自動車株式会社 智頭系統	鳥取駅～智頭駅前		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 用瀬系統	鳥取駅～用瀬		A	C			
	日ノ丸自動車株式会社 白兔海岸系統	鳥取駅～鹿野営業所		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 上井・三朝系統	倉吉駅～三朝車庫		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 赤碕系統	倉吉駅～赤碕駅		A	B			
	日ノ丸自動車株式会社 境系統	米子駅～境港駅		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 境系統	米子駅～米子鬼太郎空港		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 根雨系統	米子駅～日野病院		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 根雨系統	米子駅～谷川		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 皆生日吉津循環線	米子駅～イオン東館～米子駅		A	B			
	日ノ丸自動車株式会社 法勝寺線	祇園町日ノ丸前～大袋～下鴨部日ノ丸車庫前		A	C			
	日ノ丸自動車株式会社 法勝寺線	祇園町日ノ丸前～峰～下鴨部日ノ丸車庫前		A	A			

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鳥取県生活交通確保に係る地域協議会	日本交通株式会社 岩井系統	鳥取駅～蕪島	事業者、県及び市町村が行っている利用促進等の取り組みを継続した。	A	A	○アフターコロナ時代の利用者需要を踏まえ、外国人旅行客を含めた観光利用の促進を図る。 ○事業者、県及び市町村が行っている利用促進の取組を継続するとともに、地域の実情・ニーズに応じた地域公共交通のあり方を検討していく。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。 今後も、関係自治体との連携し、バスの乗り方教室やギャラリーバスの運行、SNS等による情報発信、バスロケーションシステムの活用により、外国人旅行者も含めた利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	日本交通株式会社 岩井系統	鳥取駅～長谷橋		A	A			
	日本交通株式会社 八頭若桜系統	鳥取駅～若桜車庫		A	B			
	日本交通株式会社 関金系統	倉吉BC～関金BC		A	A			
	日本交通株式会社 関金系統	倉吉BC～明高		A	B			
	日本交通株式会社 橋津系統	倉吉BC～石脇車庫		A	B			
	日本交通株式会社 橋津系統	倉吉BC～小浜		A	A			
	日本交通株式会社 松崎系統	西倉吉～北方入口		A	A			
	日本交通株式会社 北条系統	倉吉BC～由良駅		A	A			
	日本交通株式会社 皆生日吉津循環系統	米子駅～イオン東館～ 米子駅		A	A			
鳥取県生活交通確保に係る地域協議会	日ノ丸自動車株式会社 中河原、智頭、用瀬、 白兔海岸、上井/三 朝、赤碕、境、根雨、 皆生日吉津循環、法勝 寺	ノンステップバス 6台購入	引き続き計画的にバリアフリー 対応の車両へ更新した。	A	A	○目標は長期的なものとして適切であると判断。 ○一度に全ての車輛を更新することはできないため、引き続きバリアフリー対応の車両へ更新していく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和7年度末までにノンステップバス割合が80%とされているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。	

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鳥取県生活交通確保に係る地域協議会	日本交通株式会社 岩美岩井、八頭若桜、 関金、橋津、松崎、北 条、皆生日吉津循環	ノンステップバス 6台購入	引き続き計画的にバリアフリー 対応の車両へ更新した。	A	A	○目標は長期的なものとして適切であると判断。 ○一度に全ての車輛を更新することはできないため、引き続きバリアフリー対応の車両へ更新していく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和7年度末までにノンステップバス割合が80%とされているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月16日

中国運輸局

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
島根県生活交通 確保対策協議会	石見交通株式会社	石見交通本社前～広島 新幹線口（清流ライン 高津川号）	イベント等に参加し、体験乗 車、免許返納割引制度のPR等 による利用促進に努めた。 また、交通系ICカードを導入 し、利便性向上を図った。	A	A	引き続きお客様ニーズを把握し、ダ イヤ改正等に努め利用促進を行う。 イベント等に参加しPR活動を続け る。	各系統は、計画どおり適切に運行され ており、評価できる。 また、交通系ICカードの導入によ り、利便性の向上を図られた。 今後も、より利用者が利用しやすいダ イヤ改正、交通系ICカードのPR、 関係者と連携した路線バス、体験乗車 会や免許返納割引制度のPR等によ り、利便性向上、利用促進に繋がるこ とを期待する。	
	石見交通株式会社	医光寺前～江崎港（須佐 駅前）		A	A			
	石見交通株式会社	医光寺前～津和野温泉		A	A			
	石見交通株式会社	医光寺前～匹見上		A	B			
	石見交通株式会社	益田駅前～二川		A	B			
	石見交通株式会社	石見交通本社前～浜田 駅前		A	B			
	石見交通株式会社	浜田駅前～弥栄支所		A	B			
	石見交通株式会社	周布～江津駅前 （有福温泉・済生会病 院）		A	B			
	石見交通株式会社	周布～江津駅前 （西波子・済生会病 院）		A	A			
	石見交通株式会社	済生会病院（江津高校 前）～石見川本		A	B			
石見交通株式会社	大田市立病院前～済生 会病院	A	B					

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
島根県生活交通 確保対策協議会	一畑バス株式会社	一畑バス本社～大東駅	公共交通PRイベントを実施し、 バス利用の啓発に努めた。 ・バスまつりを開催 ・公民館、自治会、小学校等で 乗り方教室を実施	A	B	引き続き各種イベントを開催（他者 の開催するイベントに参加）し、バ スの利用啓発に努める	各系統は、計画どおり適切に運行され ており、評価できる。 今後も、関係者と連携し、バスまつり や乗り方教室などイベントの実施によ り、利便性向上、利用促進に繋がるこ とを期待する。	
	一畑バス株式会社	一畑バス本社～マリン プラザ前		A	A			
	一畑バス株式会社	一畑バス本社～御津		A	A			
	一畑バス株式会社	松江しんじ湖温泉～玉 造温泉		A	A			
	一畑バス株式会社	上塩冶車庫～出雲須佐		A	B			
	一畑バス株式会社	上塩冶車庫～出雲大社 連絡所		A	A			
島根県生活交通 確保対策協議会	一畑バス株式会社	計画に基づき車両2両 を購入	計画どおりノンステップバス2 両の導入を実施した。	A	A	引き続き計画に沿ってノンステップ バスの導入を進める。	計画どおりに車両を導入、使用してお り評価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関す る目標は、令和7年度末までにノンス テップバス割合が80%とされている ところである。	
	石見交通株式会社	計画に基づき車両3両 を購入	計画どおりノンステップバス3 両の導入を実施した。	A	A	引き続き計画に沿ってノンステップ バスの導入を進める。	今後も、ノンステップバスを中心とし た車両の導入が推進されることを期待 する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月16日

中国運輸局

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡山県生活交通 対策地域協議会	株式会社井笠バスカンパニー	笠岡～矢掛	他モードとの乗継を確保し、運行実態を反映した時分設定の見直し、定時制の確保等、利便性の向上による利用促進に取り組んだ。	A	B	他モードとの乗継を確保するとともに、運行実態を反映した時分設定に見直し、定時制を確保することにより、利便性を高める。効率的なダイヤ編成の実施	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も、バスロケ実績データに基づく遅延対策、及び利用実態、利用者の要望等に沿ったダイヤの見直し、協議会との連携による取り組みにより、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	株式会社井笠バスカンパニー	井原～福山	引き続き井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組んだ。	A	B	ICカード対応車両を増車し、利用者の利便性向上を図るとともに、井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。効率的なダイヤ編成の実施		
	株式会社井笠バスカンパニー	笠岡～井原	引き続き他モードとの乗継を確保し、井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組んだ。	A	B	他モードとの乗継を確保し、井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。効率的なダイヤ編成の実施		
	株式会社井笠バスカンパニー	篠坂～福山	引き続き井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組んだ。	A	B	利用者からの要望及び井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。効率的なダイヤ編成の実施		
	下津井電鉄株式会社	A-2 岡山線 天満屋～JR児島駅前	沿線上学校の始業時間に合わせた運行ダイヤの設定を令和4年4月に実施し、バスロケデータの活用で適正な運行ダイヤ組を実施した。	A	A	沿線上の学校への通学利用促進のため、中・高校への訪問営業。通学定期利用への啓蒙チラシの作成・配布。始業時間をヒアリング、バスロケデータを活用しダイヤ改正の実施。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も、ホームページ上への沿線施設の掲載、バスロケデータやヒアリング内容を活用したダイヤ改正、観光事業者との連携等により、観光客も含めた利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	下津井電鉄株式会社	D-19 茶屋町線 倉敷駅～下電バス興除営業所		A	A			
	中鉄バス株式会社	天満屋BC～リハビリセンター前	関係自治体と連携し、広報誌を活用する等して利用促進を図った。	A	A	関係自治体と連携して沿線施設のニーズの把握に努め、ダイヤ改正を実施する。	系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も、関係自治体と連携し、広報誌を活用や学校説明会等により利用促進に繋がることを期待する。	

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡山県生活交通 対策地域協議会	中鉄北部バス株式会社	津山～行方	沿線の観光情報等を掲載した時刻表を作成して関係自治体、観光関連団体及び観光施設等へ配布し、利用促進を図った。	A	B	沿線の観光情報等を掲載した時刻表を作成して関係自治体、観光関連団体及び観光施設等へ配布し、利用促進を図る。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も、沿線の観光情報等を掲載した時刻表の配布により、利便性向上、観光客を含めた利用促進に繋がることを期待する。	
	中鉄北部バス株式会社	岡山～勝山	沿線の観光情報等を掲載した時刻表を作成して関係自治体、観光関連団体及び観光施設等へ配布し、利用促進を図った。	A	A	沿線の観光情報等を掲載した時刻表を作成して関係自治体、観光関連団体及び観光施設等へ配布し、利用促進を図る。		
	備北バス株式会社	高梁駅～塩坪～砦部	関係自治体と連携し、高校生を中心とした利用促進を行った。	A	B	当該路線の利用者の多くは、高校生及び中学生の通学利用であり、少子高齢化による利用者の減少傾向が進むなか、高梁市・真庭市と連携し利用促進に取り組み収支率49%台を目指していきたい。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も、学校訪問等による新規利用者の掘り起こし、自治体と連携した広報誌への時刻表の掲載、運賃無料デー、ハレカハーフによる運賃割引等により、利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	備北バス株式会社	高梁駅～リハビリセンター～吉川	昨年度に引き続き高校生の通学補助を中心とした利用促進を行った。	A	B	当該路線の利用者の多くは、高校生の通学利用であり、少子高齢化による利用者の減少傾向が進むなか、高梁市・吉備中央町と連携し利用促進に取り組み収支率53%台を目指していきたい。		
	備北バス株式会社	地頭～古町～岡山	昨年度に引き続き往復利用割引運賃制度及び愛カードの広報を行い利用促進を行った。	A	B	当該路線は高梁市より岡山市への通院及び買い物を主とした路線であり、今後も高梁市・総社市及び岡山市と連携し利用促進に取り組み収支率41%台をめざしていきたい。		
	備北バス株式会社	地頭～古町～高梁駅	昨年度に引き続き高校生の通学補助及び愛カードの広報を中心とした利用促進を行った。	A	A	当該路線の利用者は、高校生の通学と病院への通院及び買い物への利用が多く、今後も高梁市と連携し利用促進に取り組み収支率48%台を目指していきたい。		

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡山県生活交通 対策地域協議会	両備ホールディングス 株式会社	西大寺～西大寺駅・神 崎～牛窓（牛窓南線）	<ul style="list-style-type: none"> ・JR西日本が発行するデジタルフリーパスに参画し、牛窓地区への誘客の取り組みを行った ・西大寺地区の高校の入学者説明会において定期券、バス通学の案内を実施 	A	A	JR西大寺駅で接続する鉄道のダイヤに応じた時刻設定、地域のニーズに応じた路線の設定を行う。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も、生活利用と観光利用の混乗、利用実態に合わせたダイヤ改正、学校等施設訪問でのPRや定期券販売、小学生を対象とした乗り方教室、利用実態に合わせたダイヤ改正等により、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～鉾立（鉾立 線）	<ul style="list-style-type: none"> ・高校の入学者説明会において定期券、バス通学の案内を実施 ・2022年10月に岡山市内の一部運賃を見直し、収入の確保を図った 	A	B	重複する路線と統合させることにより、運行効率と沿線のご利用者の利便の向上を図る。		
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～宇野駅前（上 山坂線）		A	B			
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～当新田・荘内 支所～渋川三丁目（荘 内渋川線）	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線高校の入学者説明会において資料配布や定期券事前申込受付を実施 ・2022年10月に岡山市内の一部運賃を見直し、収入の確保を図った 	A	A	利用実態に応じてダイヤの見直しを実施する。		
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～当新田・田井 ～玉野市役所前（玉野 市役所線）		A	A			
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～当新田・荘内 支所～宇野駅前（荘内 宇野駅線）		A	A			

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡山県生活交通 対策地域協議会	琴参バス株式会社	瀬戸大橋線 坂出駅前～JR児島駅	①島の資源を活用したレジャー客の利用促進を図るためバスdeフィッシング企画継続し、坂出営業所実施しているパーク&バスライド利用日を土日祝限定から毎日利用に拡大し利用促進を図った。 ②国の重要文化財に指定された鍋島灯台へ「バスで行ける与島・鍋島灯台の往復企画乗車券」を与島プラザと連携し施設で利用できるクーポン券付きにて販売し収入増に努めた。 ③バスロケーションシステム導入しバス利用者に対しバス車内の混雑度をリアルタイムに「見える化」しバス停での待ち時間の不安を解消し利便性向上を図った。	A	B	マイカーでは行けない島への路線バス利用をSNS等にて幅広くPRし、観光客の利用拡大に繋げる。 バスロケーションシステムに合わせて導入した乗降センターにて各バス停及び便別などの利用状況をデータ化し今後、効率的な運行に繋げたい。	系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も、観光客をターゲットした取り組みやパークアンドライド、観光施設と連携した企画乗車券により、利用促進に繋がることを期待するとともに、乗降データの活用により、利便性の向上に繋がることを期待する。	
	株式会社井笠バスカンパニー	ノンステップバス等10両継続、上記4路線で運行	計画通り車両の代替を進めた。	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和7年度末までにノンステップバス割合が80%とされているところである。	
	中鉄北部バス株式会社	都市間連絡用バス1両導入 岡山～勝山線で運行	本年度は車両代替を実施しなかった。	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。	今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

令和6年2月16日
中国運輸局

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善協 議会	防長交通株式会社	柳井駅前～快）～徳山駅前	R5.3.18に列車との接続便についてダイヤ改正を実施した。関係自治体と連携して利用し易いダイヤ改正を実施した。 各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券等PRに取り組み利用促進を図った。 利用者の利便性を向上させるため、バスロケーションシステム活用について周知を図った。 R5.3.25に周南市・下松市・光市域の路線で交通ICカードシステムを導入し、PRなどを積極的に行い、利用促進に努めた。	A	B	引き続き、バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用し易いバスを目指していく。 また、各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRを継続的に努め、利用促進を図る。 バスロケーションシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。 交通ICカードシステムはR6.3にR5.3.25で未導入だった全路線へ導入する。利用者へのPRなどを積極的に行い、利用促進に努める。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 また、一部路線への交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図られた。 今後も、列車及び関係自治体と連携したダイヤ改正、バスロケーションシステムの活用、バス乗り方教室の開催、小児運賃一律50円キャンペーン、交通系ICカードの全路線への導入や利用者へのPRにより、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	防長交通株式会社	防府駅前～新南陽駅～徳山駅前		A	A			
	防長交通株式会社	柳井駅前～イオン・平生～上関		A	B			
	防長交通株式会社	大島駅～周防久賀～町立橋医院前		A	C			
	防長交通株式会社	大島駅～大島商船・大島庁舎前・沖浦～町立橋医院前		A	B			
	防長交通株式会社	徳山駅前～バイパス・記念病院・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛		A	A			
	防長交通株式会社	徳山駅前～新南陽駅・夢求の里～コアプラザかの		A	B			
	防長交通株式会社	徳山駅前～新南陽駅・ソレーネ・湯野～柚木河内		A	A			
	防長交通株式会社	堀～中山～防府駅前		A	B			
	防長交通株式会社	堀～和字～防府駅前		A	C			
	防長交通株式会社	県庁前～西京橋・新山口駅・長浜～秋穂荘		A	B			
	防長交通株式会社	県庁前～西京橋・リハビリ・権現堂橋・山手～新山口駅		A	B			
	防長交通株式会社	新山口駅～大田～東萩駅前		A	B			
	防長交通株式会社	新山口駅～十文字～秋芳洞		A	C			
防長交通株式会社	萩商工高校前～萩センター・東萩駅・越ヶ浜～奈古駅前	A	B					

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善協 議会	サンデン交通株式会社	下関駅～唐戸～川棚温泉	前運行年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大により甚大な影響を受けており、大幅な減収となった。	A	B	引き続き I C カード「ニモカ」の周知拡大を図り、利便性の向上を目指すとともに経費削減に努める。 引き続きバス利用促進につながるよう、標準的なバス情報フォーマットによるデータ提供を進めていく。 また、関係市と連携して持続可能なバス路線の形を模索していくと共に、学生需要拡大や、バス乗り方教室の開催、スマートフォン決済の推進により、利用者の拡大に力を入れていく。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も、標準的なバス情報フォーマットによるデータ提供、学生需要拡大やバス乗り方教室の開催、スマートフォン決済の推進等により、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	サンデン交通株式会社	下関駅～豊洋台 3 丁目～川棚温泉	各種イベント中止、クルーズ船入港中止、学校関係の行事中止などあり、貸切バスにおいてはほぼ収入がない状況	A	A			
	サンデン交通株式会社	下関駅～小月駅・小野田駅～おのだサンパーク	毎年、ダイヤ改正を実施、運行系統の整理、運番削減等を行い効率的な運行に努めた。 R03.03.06より I C カード「ニモカ」導入、併せて、高齢者、学生以外の人でも利用できる「一般フリー定期」を新設、利便性の向上と収入増に努める。	A	A			
	サンデン交通株式会社	下関駅～小月駅～大泊	その他、春夏冬休み小児運賃一律50円キャンペーン、高齢者向け乗り放題パスへの免許返納者向け割引の設定、小学生へのバス乗り方教室の実施、「長門市内1日フリーパス」（スマートフォン決済）の導入、など利用者により、バス利用促進をPRした。	A	B			
	サンデン交通株式会社	下関駅～下大野～豊田町西市		A	B			
	サンデン交通株式会社	下関駅～小月駅～美祢駅		A	A			
	船木鉄道株式会社	船木～本山岬 船木～サンパーク～本山岬 船木～労災病院～本山岬 船木～労災病院～サンパーク～本山岬	R5年4月よりバスロケーションシステムを導入した。 またGoogleMapにバスのリアルタイム情報を掲載。	A	B	バスの利用促進につながるよう、時刻表の改善や乗り方教室の実施等を通じたバスのPRに努めるとともに、バスロケーションシステムを活用した利便性の向上を図る。		
	船木鉄道株式会社	船木～宇部市役所	JR小野田駅にデジタルサイネージを設置し、JR小野田線の時刻も合わせて表示できるようにした。	A	A			
	船木鉄道株式会社	厚狭駅～宇部中央 厚狭駅～サンパーク～宇部中央 厚狭駅～労災病院～宇部中央 厚狭駅～労災病院～サンパーク～宇部中央	R4年10月にダイヤ改正を行い利便性の向上を図った。	A	A			

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善協 議会	石見交通株式会社	広益線 石見交通本社前～(清流ライン 高津川号)～広島新幹線口	イベント等に参加し、体験乗 車、免許返納割引制度のPR等による 利用促進に努めた。 また、交通系ICカードを導入し、 利便性向上を図った。	A	A	引き続きお客様ニーズを把握し、 ダイヤ改正等に努め利用促進を行うと ともに、イベント等に参加しPR活動 を続ける。	各系統は、計画どおり適切に運行され ており、評価できる。 また、交通系ICカードの導入によ り、利便性の向上を図られた。 今後も、より利用者が利用しやすいダ イヤ改正により、利便性向上を図ると ともに、交通系ICカードのPR、体 験乗車会や各種イベントを通じて利用 促進に繋がることを期待する。	
	石見交通株式会社	小浜江崎線 医光寺～日赤・温泉～江崎港 (須佐駅前)		A	A			
	宇部市交通局	新山口線（特急） 宇部新川駅～山口宇部道路～ 新山口駅	路線維持のため、バス停車表 の停留所掲示や時刻冊子の配布 など、PRに取り組んだ。	A	B	引き続き、バス利用促進につな がるよう、時刻表の改善や各種イベ ントへの参加、乗り方教室の実施等 により、PRに努める。 バスロケーションシステムの改善 や、SNS等を活用した情報発信を強 化していく。 ICカード利用率向上のため、割 引制度の拡充を実施する。	各系統は、計画どおり適切に運行され ており、評価できる。 今後も、路線バス無料デーへの参加、 感謝デーの実施、小学生への乗り方教 室、バスロケーションシステムの活 用、ICカードの活用等により、利便 性の向上、利用促進に繋がることを期 待する。	
	宇部市交通局	新山口線（普通） 宇部新川駅～サンパークあじ す・東岐波商業団地前～新山 口駅新幹線口	路線バス無料デー（宇部市主 権）への参加や、感謝デー（全 線1乗車100円）の実施によ り公共交通の利用促進に取り組 んだ。	A	A			
	宇部市交通局	阿知須線 宇部新川駅～今村～サンパ ークあじす	主に小学生に乗り方教室を実 施し、生活交通路線の利用促進 に取り組んだ。	A	A			
	宇部市交通局	阿知須線 宇部新川駅～今村・ミスタ マックス宇部店～サンパ ークあじす	バスロケーションシステムの サイネージをゆめタウン宇部に 増設し、情報提供の充実 に努めた。	A	A			
	宇部市交通局	小野田線 小野田営業所～大学病院前～ 常盤町二丁目	ICカード利用促進のため、 紙式定期券の廃止や、新たな定 期券商品の発売を実施した。	A	A			
	宇部市交通局	西ヶ丘日赤線 西ヶ丘～ゆめタウン宇部～日 赤前		A	A			
	中国ジェイアールバス株式会 社	D74 山口駅～昭和町・ゆめタウン 山口～防府駅	小学生を対象に外出機会の増 える長期休暇を対象に乗車区 間に関わらず一律50円とする 「こども50円バス」や関係市 とのノーマイカーデーにお けるバス半額券、高齢者を 対象としたバスの運賃助成 事業の取り組みを行い、生 活交通路線の維持を図った。	A	A			
	中国ジェイアールバス株式会 社	D77 防府駅～ゆめタウン山口・ 県庁・湯田温泉通～中尾口		A	B			
	中国ジェイアールバス株式会 社	D79 秋吉～洞・バイパス・大田 中央・県庁～山口駅		A	A			

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善協 議会	中国ジェイアールバス株式会 社	D109 防府駅～ゆめタウン山口・県 庁・湯田温泉通～山口大学	同上	A	A	同上	同上	
	中国ジェイアールバス株式会 社	D127 山口駅～県庁・野田・明倫セ ンター～東萩駅		A	B			
	防長交通株式会社	<p>ノンステップバス 25両導 入 令和元年度導入分＝4両 令和2年度導入分＝5両 令和3年度導入分＝5両 令和4年度導入分＝5両 令和5年度導入分＝6両</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳井駅前～快）～徳山駅前 ・防府駅前～新南陽駅～徳山駅前 ・柳井駅前～イオン・平生～上関 ・大島駅～周防久賀～町立橋医院 前 ・大島駅～大島商船・大島庁舎 前・沖浦～町立橋医院前 ・徳山駅前～バイパス・記念病 院・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛 ・徳山駅前～新南陽駅・夢求の里 ～コアプラザかの ・徳山駅前～新南陽駅・ソレー ネ・湯野～柚木河内 ・堀～中山～防府駅前 ・堀～和字～防府駅前 ・県庁前～西京橋・新山口駅・長 浜～秋穂荘 ・県庁前～西京橋・リハビリ・権 現堂橋・山手～新山口駅 ・新山口駅～大田～東萩駅前 ・新山口駅～十文字～秋芳洞 ・萩商工高校前～萩センター・東 萩駅・越ヶ浜～奈古駅前 	計画通りノンステップ型車両の 導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画通りノンス テップバスの導入を進めていく。	<p>計画どおりに車両を導入、使用してお り評価できる。</p> <p>乗合バス車両のバリアフリー化に関す る目標は、令和7年度末までにノンス テップバス割合が80%とされている ところである。</p> <p>今後も、ノンステップバスを中心とし た車両の導入が推進されることを期待 する。</p>	

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善協 議会	サンデン交通株式会社	ノンステップバス10両導入 令和元年度導入分＝2両 令和2年度導入分＝2両 令和3年度導入分＝2両 令和4年度導入分＝2両 令和5年度導入分＝2両 国道線、西市線 美祢線、北浦線 仙崎線	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画どおりノンステップバスの導入を進めていく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和7年度末までにノンステップバス割合が80%とされているところである。 今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。	
	船木鉄道株式会社	ノンステップバス4両導入 令和元年度導入分＝1両 令和2年度導入分＝1両 令和4年度導入分＝1両 令和5年度導入分＝1両 本山線 宇部線 厚狭線	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画どおりノンステップバスの導入を進めていく。		
	石見交通株式会社	ノンステップバス4両導入 平成30年度導入数＝2両 令和元年度導入数＝2両	新たな車両導入は行っていない。	A	A	計画的な導入を進めていく。		
	宇部市交通局	ノンステップバス9両導入 令和元年度導入数＝2両 令和2年度導入数＝1両 令和3年度導入数＝1両 令和4年度導入数＝2両 令和5年度導入数＝3両 新山口線 阿知須線 小野田線	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画どおりノンステップバスの導入を進めていく。		
	中国ジェイアールバス株式会社	ノンステップバス7両導入 平成30年度導入分＝0両 令和元年度導入分＝2両 令和2年度導入分＝1両 令和3年度導入分＝0両 令和4年度導入分＝2両 令和5年度導入分＝2両 D74系統 D77系統 D79系統 D109系統 D127系統	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A	A	今後も低床車両の導入が図れるよう努めていく。		